

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学アート・センター
Publication year	2007
Jtitle	Booklet Vol.15, (2007.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11893297-00000015-04211379

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

目次

はじめに	前田 富士男	5
1 近代美術における公共性と私性 ——バウハウスとダダを手がかりに	前田 富士男	8
文化施設の今後 ——公共理念の再定義へむけて	美山 良夫	24
美術館運営のゆくえ	河崎 晃一	37
わが国の文化環境とこれからのミュージアム	高橋 信裕	48
指定管理者制度と芸術振興	植村 栄治	59
需要リスク移転のパラドックス ——王立武具博物館の失敗事例に学ぶ	太下 義之	70
「公」の物差し、「個」の物差し ——ダニエル・ビュレンの問いかけ	渡部 葉子	78
2 関係法規一覧		98
文化における公共性／主要研究資料		108